

平成 30 年 2 月 1 日

エンジニアリング協会 関係者の皆様へ

一般財団法人 エンジニアリング協会

専務理事

前野 陽 一

今年は、寒い日が多く、特に 1 月 22 日（月）には、東京 23 区内でも 20cm を超える積雪があり、多くの方が帰宅困難となりました。皆様お元気でお過ごしでしょうか。

このレターについては、「読んでいるよ」とおっしゃっていただける人は結構多いのですが、その内容について、感想や意見をお送りいただく方は多くありません。

そのような中、先月のレターで「なぜ『犬』ではなく『戌』なのか？元々『戌』とは、『作物を刈り取り、ひとまとめにする』ことを意味する漢字のようですが、それが、なぜ『イヌ』を意味するようになったか」といったことを書いたところ、ある方から、以下のようなメールが届きました。

「日経新聞に書いてあったと思いますが、犬に限らず、馬が午、猿が申というように、十二支は全部、動物名と違った字が当てられています。これは、もともと十二支というのが、固有の字を持たない古代の西域の異民族の風習で、その地のそれぞれの動物の呼称の発音に似た字を当てたもののようです。（万葉仮名と同じなので東夷の倭国の末裔としてはわかりやすいですね、）それを、古代中国が、採り入れたから変な字が残ったということだそうです。私の理解ですが、たとえば言えば、その地では、犬のことをボとか、馬のことをゴとか、猿のことをシンとか言った、ということなのでしょう。（もちろん古代西域の実際の発音は分かりませんので現代日本語の音読みで申し上げます）」

こういう返信を頂戴すると、私としては「今後ともレターを書いていこう」という気になります。

以下、1 月の主な活動についてご報告申し上げます。

[主要な活動内容]

1 賀詞交歓会の開催

1月5日（金）に毎年恒例の賀詞交歓会を、溜池山王のANA インターコンチネンタルホテル東京で開催いたしました。

今年は例年より多く、約 1,000 名の皆様にお越しいただき、盛況に開催できましたこととお礼申し上げます。ご来賓も、ご挨拶を頂戴した経済産業省の多田製造産業局長に加え、外務省、国土交通省、環境省などの関係省庁や、政府関係機関の幹部の皆様に多数お越しいただきました。

来年の賀詞交歓会は、1月5日が土曜日であることもあり、日をずらして開催することを検討しております。気の早い話ですが、来年もよろしくお願い申し上げます。

2 講演会等の開催

1月は、1件の特別講演会と2件のビジネス講演会を開催したほか、循環型社会システム研究部会主催のミニ講演会を実施しました（1件の講演会について、講師のご都合により日延べしたことにつき、お詫び申し上げます。）。

2月は、1件の特別講演会、5件のビジネス講演会、1件の説明会及び情報システム部会の拡大研究会を開催するほか、福岡において、第5回エンジョイセミナーを行う予定です。

皆様のお越しをお待ちしております。

3 多田製造産業局長と大下理事長との対談の実施

1月19日（金）に、広報誌「Engineering」の新春企画として、多田製造産業局長と大下理事長との対談を実施しました。

今回は、多田局長のご要望により、事前により対談の内容を決めずに、その場の会話の中から、話を自由に展開しようということとなりました。対談の中では、今後の企業経営の中でAIやIoTをいかに活用していくか、先行きが不透明な中でいかにリスクを取っていくか、変化していく消費者意識にいかに対応するか、など多岐に渡るお話がなされました。

近々発行予定の広報誌「Engineering」の中でご覧ください。

4 情報処理推進機構（IPA）の富田理事長へのご訪問

1月19日（金）に、独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）の富田理事長にお会いしました。IPAでは、社会インフラ・産業基盤を狙ったサイバー攻撃に対処するため、昨年4月に「産業サイバーセキュリティセンター」を設け、企業の人材・組織強化などを図っています。是非、当協会とも連携していきたい、とのことでした。

富田理事長は、民間ご出身の方で、大変気さくな方でしたので、当協会での講演をお願いしてしまいました。

5 関係団体へのご訪問

講演会の講師のお願いなどを念頭に置きつつ、関係団体へご訪問しました。上記4のとおり、19日（金）に、情報処理推進機構（IPA）の富田達夫理事長にご訪問したほか、23日（火）には、公益財団法人 国際通貨研究所の渡辺博史理事長、24日（水）には、一般財団法人 日本エネルギー経済研究所の豊田正和理事長をご訪問しました。

6 その他

月末になって、突然高熱を発し、医者に行ったところA型インフルエンザに罹患していることがわかりました。このレターを書くのも遅れてしまい、皆様の手に届くのが遅れたかもしれません。

今年は例年になく大流行だそうで、皆様もお気をつけください。

2月の講演会等の実施について

平成30年2月1日

エンジニアリング協会

専務理事 前野陽一

2月は、1件の特別講演会、5件のビジネス講演会、1件の説明会及び情報システム部会の拡大研究会を開催するほか、福岡において、第5回エンジョイセミナーを行う予定です。通常の講演会の開始時刻は、10時30分ですが、一部講演会は開催時刻が異なっておりますのでご注意ください。

多くの皆様のお越しをお待ちいたしております。

なお、正式のご案内は別途お送りします。

1 今後の日米経済関係

(2月1日(水) 外務省 北米局 北米経済調整室長 荻原 宏 様)

トランプ政権成立以降、アメリカの対外政策は大きく変化しており、日米関係でも、麻生副総理とペンス副大統領との間で「日米経済対話」が行われるなど、新たな動きが出てきております。

米国の動向や日米関係は、賛助会員企業のビジネスにも大きな影響があることから、公務お忙しいところ、外務省で日米関係を担当しておられる荻原様に講演をお願いしました。

海外営業部門の方など、皆様にお聞きいただければ幸いです。

2 阿蘇くまもと空港の創造的復興について

(2月9日(金) 熊本県 企画振興部 交通政策・情報局長

藤井 一恵 様)

平成28年4月に発生した熊本地震の後、熊本県が力強く復旧・復興していることは、皆様ご案内のとおりです。

こうした事業の一環として、このたび熊本県では益城町に所在する「阿蘇くまもと空港」について、コンセッション方式を導入し、創造的復興のシンボルとすることを決定されました。

今回の講演では、この事業の責任者である藤井様にお越しいただき、その内容や目的などについて、詳しくご説明いただきます。

本事業にご関心を有する多くの皆様のご参加をお待ちしております。

3 平成30年度に実施予定の人材育成プログラムについて(説明会)

(2月14日(水) 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)

産業サイバーセキュリティセンター 事業推進部 部長 細川 貴史 様)

情報処理振興機構 (IPA) は、日本における IT 国家戦略を技術面、人材面から支えるために設立された独立行政法人です。現在 IPA が実施されている事業の中で、情報セキュリティや人材育成が大きな柱となっています。

今回の説明会では、IPA 内の産業サイバーセキュリティセンターの活動をご説明いただくとともに、平成30年度に実施予定の若手人材や CIO、CISO クラスを対象とした短期プログラムについて、ご紹介いただきます。

情報セキュリティ部門や人事・研修部門の皆様の皆様のお越しをお待ちしております。

4 激動の LNG 市場 日本の目指すべき方向は？JERA の LNG 戦略とは？

(2 月 15 日 (木) 株式会社 JERA 執行役員 佐藤 裕紀 様)

株式会社 JERA は、東京電力様と中部電力様が共同で設立され、「世界で戦えるグローバルエネルギー企業」をめざしておられることは、皆様ご案内のとおりでと思います。

当協会でも、ご講演を頂いているエネルギー専門家に、「株式会社 JERA の中で、どなたからお話を聞いたらよいのでしょうか？」とお聞きしたところ、まず名前が挙がったのが、今回講師をお願いする佐藤様です。

今回の講演では、世界のエネルギー情勢を俯瞰した上で、株式会社 JERA の LNG 戦略は、どのように立てられているかなどについてお話いただきます。

エネルギー関係分野の皆様を中心に、お越しをお待ちしております。

5 大気・水・土壌等の環境保全施策の現状と課題

(2 月 16 日 (金) 16 時 00 分より

環境省 水・大気環境局長 早水 輝好 様)

環境省の水・大気環境局は、昨年 7 月の組織再編により、水や土壌などの環境汚染対策を中心に担当されています。

今回の講演では、PM2.5 などの大気汚染問題、湖沼の汚染などの水質保全問題や土壌汚染問題など、幅広くお話しをいただきます。

経営幹部の皆様を含め、多くの方にお越しいただければ幸いです。

6 大規模危険物施設の事故状況から見た日本企業の安全対策の課題

(2月20日(火) 危険物保安技術協会 顧問 小林 恭一 様)

危険物保安技術協会は、消防法に基づき危険物等の保安の確保を図ることを目的とする認可法人であり、消防庁の方針を受け、危険物の取り扱いについて、調査分析や啓蒙活動などを実施されています。

今回の講演では、同協会の顧問をされている小林様をお招きし、危険物の取り扱いについて、日本企業が注意すべき点について具体的な事例に基づきお話しいただきます。

保安部門の皆様を中心として、多くの方の参加をお待ちしております。

7 情報システム部会 拡大研究会

(2月21日(水) **13時10分**より)

情報システム部会長の今井三也様をはじめ、4人の講師により、最近の部会の活動報告や賛助会員が関心を有している様々な問題について、現場目線でお話をいただく、年1回の意見交換会です。

情報関連部門の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

8 非金融分野におけるブロックチェーンを活用と法的側面

(2月27日(火) 10時より)

株式会社ブロックチェーンハブ CEO 増田 一之 様

TMI 総合法律事務所 パートナー弁護士 北島 隆次 様)

ビットコインの基盤技術として登場したブロックチェーンは、その改ざん耐性や価値の移転を可能とする特性等により、インターネットと同様の可能性を秘めていると言われています。その結果、今や金融機関だけでなく、非金融分野でも研究・実証実験、ビジネス化が進み、実施例も散見されます。

ブロックチェーンを用いたビジネスがバーチャルとリアルを結ぶものである以上、その接点には必ず法的検討や規制が必要となります。

今回の講演では、ブロックチェーンの基礎から、代表的なビジネスユースケースまでご紹介いただくとともに、ブロックチェーンに関する法的問題点について、ご解説をいただきます。

経理部門や企画部門の皆様などにお聞きいただければ幸いです。